

夏休みが9日間に大幅短縮

今年度の夏休みは新型コロナウイルスの影響で、五月が休校になったため、学習時間を補うために、例年四十日程度あった夏休みを八月八日から十六日の九日間に短縮した。県教育委員会によると授業日数は二十六日間不足しているが、夏休みを短縮することにより二十四日は取り戻せるとしている。残りの二日は土曜日授業等を実施して授業の遅れを取り戻す計画を立てている。

県教育委員会、鍵本芳明教育長は「一番は子どもたちの学びを確保すること。夏場の暑さも十分に気を付けながら状況に応じて対応していく。」と話した。

生徒の心境は、「楽しみにしていた夏休みが短くなって残念。」

「夏の暑い時に学校に行くため熱中症が心配。」

「今年度は進路を決める年で、学校に行って進路対策ができることはうれしい。」

「四・五月は学校に行けなくて勉強もできていないので夏休み短縮は当然のことだ。」

など様々な声が上がっている。

毎年、異常気象により気温が上がっている。気象庁は、今年の気温予想は平年並みか高い予想を出している。そのため熱中症や夏バテには十分に気を付ける必要がある。



WEB

倉商新聞

7・8月号

「2020年甲子園高校野球交流大会」抽選会開催

春のセンバツ高校野球の代替大会として、2020年甲子園高校交流大会が行われる。大会に先立ち、7月8日に抽選会が開かれた。今年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ZOOMでの抽選会となった。対戦相手は、宮城県の仙台育英高校に決定。日時は8月15日（土）第三試合15:20～プレイボール予定だ。



両高の抽選後のインタビュー

相手チームの印象：レベルの高い良いチーム。
 チームの仕上がり：元気よく練習ができていて、いい雰囲気を保っている。
 意気込み：全力プレーで、多くの関係者に感謝の気持ちを持ちながら試合に臨みたい。
 倉敷商業主将 原田将多

悔いの残らない試合をしてきてください！

相手チームの印象：打力があり組織力で勝つチーム。
 チームの仕上がり：練習の短い中でもチームの良さを磨き3年間の集大成として甲子園で一勝できるようにしている。
 意気込み：感謝の気持ちを持ち、この希望や勇気を与えられるような野球をしていきたい。
 仙台育英主将 田中祥都

